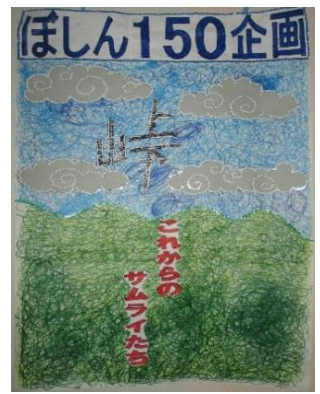


ふるさと学習「小千谷の歴史を知ろう～2018 戊辰 150 小千谷市立総合支援学校 中学部



ねらい

- 地域の歴史的な出来事である小千谷談判とその後の展開について、知識をもつ。
- 小千谷の歴史を学ぶことを通して、地域への関心をもつ。

活動の様子

小千谷談判について学ぶ

小千谷談判については予備知識がほとんどなく、150年前と言っても生徒には想像がつかない。そこからのスタートで、まずは“ひひひひひひおばあちゃんの時代”であることを確認、談判については“けんか”になぞらえて説明した。



校外学習（慈眼寺・船岡公園）

幕末～現代のごく簡単な歴史、小千谷談判についての学習を経て、談判の行われた慈眼寺を訪ね、ご住職のお話を聴くとともに、談判のやりとりを体験した。



場面ごとに出演を分担して映画撮影に挑戦

談判体験での生き生きとした様子や、船岡公園でのフィールドワークに意欲的に取り組む様子から、この単元をさらに発展させることで、生徒たちの理解をより深められるのではないかと考えた。そこで、地元でロケが行われた『峠～最後のサムライ』をイメージして、『峠～これからのサムライたち』という映画を制作することにした。



小千谷の歴史のレポートと“峠検定”

昨年は、エコキャップ活動でワクチンが贈られる途上国について、1人1枚レポートを作成した。ポスター発表的な形式でレポート発表をしたところ、生徒たちは互いのレポートを見て回りながら、分かったことをプリントに書くことができた。また、レポートを作ったことに達成感をもつことができた。

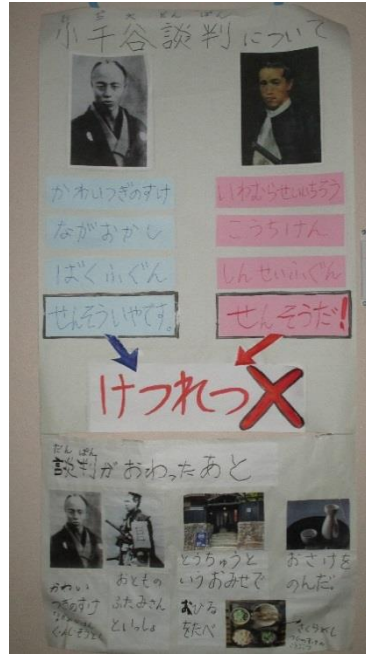
そこで、今年もレポートを作って見合う活動を通じて、情報を読み取る力の育成を図り、達成感をもたせたいと考えた。また、“峠検定”を設定し、「レポートを見て、“峠検定”の答え合わせをする」こととした。“検定”にすることで、学習内容に向かう意欲を高めるとともに、互いのレポートを真剣によく読むことを促した。

船岡公園のレポート



“峠検定”船岡公園について

小千谷談判のレポート

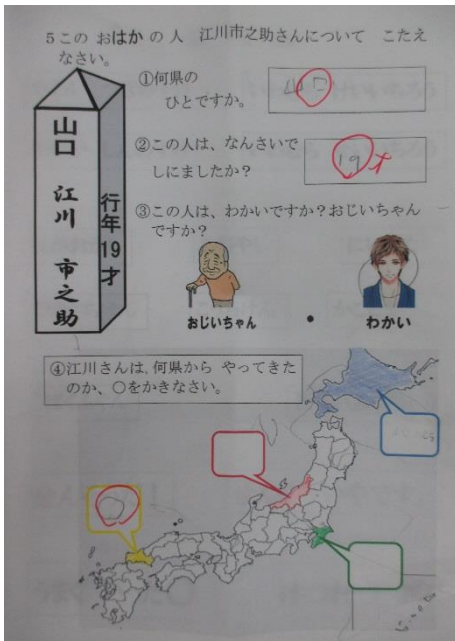


“峠検定”小千谷談判について

榎峠の戦いのレポート



“峠検定”榎峠の戦い



学習を振り返って

本単元では、前半でおおまかなイメージを形成した小千谷談判、戊辰戦争について、後半では映画制作、レポート作り、検定を通して、さらに学習を深めることを目指した。

特に生徒たちが高い興味関心を示したのは、やはり映画制作であった。どんな場面を作ろうとしているのか、説明を聞いて理解し、一生懸命役割を果たそうとする姿をたくさん見ることができた。

“峠検定”は、「何級」ではなく、29点中20点以上を合格とした。満点者2名、他12名も全員合格した。合格リボンを嬉しそうに胸に張る生徒もいた。

単元全体を通して、人名や地名など何らかの知識をもった生徒は少数かもしれないが、達成感という点ではほぼ全員にもたせることができた。